

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況(腸管病原菌含)

検出菌 ウイルス	2021年												2022年														
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月 ~6日	2月 ~13日	2月 ~20日	2月 ~27日	3月 ~6日	3月 ~13日	3月 ~20日	3月 ~27日	4月 ~3日	4月 ~10日	4月 ~17日	4月 ~24日	5月 ~1日	5月 ~8日
カンピロバクター	114	65	137	114	169	115	122	85	45	63	84	78	76	12	4	10	8	11	7	12	13	17	19	18	15	5 (6)	10
病原性大腸菌	39	25	52	61	55	64	63	45	42	102	62	44	29	14	5	7	15	11	12	3	11	9	23	16	14	13 (20)	7
腸管出血性大腸菌	1	0	0	0	1	2	3	2	0	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サルモネラ	6	5	3	1	5	8	10	23	9	25	7	4	4	1	0	1	1	1	1	3	2	1	2	1	1	2 (3)	0
黄色ブドウ球菌 MSSA	14	16	33	19	39	25	17	15	20	26	21	12	35	3	1	4	4	6	6	8	5	1	8	7	4	4	5
黄色ブドウ球菌 MRSA	10	10	15	25	31	13	14	19	10	18	8	18	19	2	6	1	1	3	4	2	0	5	2	3	9	6 (7)	6
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
その他	0	2	1	3	4	4	0	4	5	3	3	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ロタウイルス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	4	5	6	11	13	9	0	0	0	0	0	2	4	0	0	0	0	0	1	3	3	0	1	1	0	0	0

* ()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和4年第18週(5月2日~5月8日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	1	結核	1			1				
三類	0	発生なし	0							
四類	2	レジオネラ症	2	1				1		
五類	4	梅毒	4					2		2
新型インフルエンザ 等感染症	6,204	新型コロナウイルス感染症	6,204	700	332	382	121	3,158	386	1,125

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町
北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

■コメント

1 新型コロナウイルス感染症

第18週に3,158件の報告があり、多い状況が続いています。

大型連休が終了し、会社や学校が始まりました。感染を拡大させないためにも、誰でも感染するという意識を持ち、基本的な感染防止対策を徹底しましょう。また、少しでも感染の不安を感じたら積極的に検査を受けましょう。

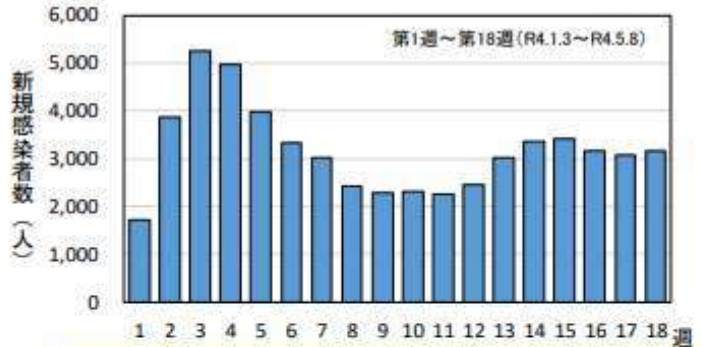
発熱、のどの痛みや咳などの症状があるときは、出勤や登校を控え、かかりつけ医やコールセンター(積極ガードダイヤル)に連絡・相談しましょう。(次ページ参照)

2 梅毒

今年の累計は88件と非常に多い状況です。梅毒は性的な接触により感染し、治療せずに放置すると、脳や心臓などに重大な病変を起こすことがあるため、早期発見・早期治療が大切です。

【参考】保健センターの無料・匿名の梅毒検査 <https://www.city.hiroshima.lg.jp/soshiki/72/2986.html>

新型コロナウイルス感染症新規感染者数の推移(広島市)



広島県実施のPCR等検査

詳しくは、下記ホームページをご覧ください。

PCR検査の実施について(広島県)

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/269/hiroshimapcrcenter.html>

■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号
小児科	インフルエンザ	-	-	0.40	
	咽頭結膜熱	4	0.17	0.36	
小児科	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2	0.08	1.10	
	感染性胃腸炎	76	3.17	3.38	
	水痘	-	-	0.24	
	手足口病	15	0.63	0.86	
	伝染性紅斑	-	-	0.09	
	突発性発しん	15	0.63	0.13	
	ヘルパンギーナ	2	0.08	0.07	
小児科	流行性耳下腺炎	1	0.04	0.12	
	RSウイルス感染症	5	0.21	0.27	
	急性出血性結膜炎	-	-	-	
	流行性角結膜炎	5	0.63	0.75	
	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	無菌性髄膜炎	-	-	0.03	
	マイコプラズマ肺炎	-	-	-	
基幹	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.94	

急増減	増減	微増減	横ばい	前週と比較しておおむね
↑	↗	↘	→	1:2以上の増減
	↖	↕		1:1.5~2の増減
				1:1.1~1.5の増減
				ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注)過去5年間の同時期平均(定点当たり)

今週(第18週)は、ゴールデンウィークの休診の影響で、報告数が少なくなっている可能性があり、前週(第17週)と適正な比較ができないことから、発生記号は表示していません。

■全数把握感染症報告状況(新型コロナウイルス感染症を除く)

類型	疾患名	報告数	累計	備考
4	レジオネラ症	1	8	50歳代
5	梅毒	2	88	60歳代・2人